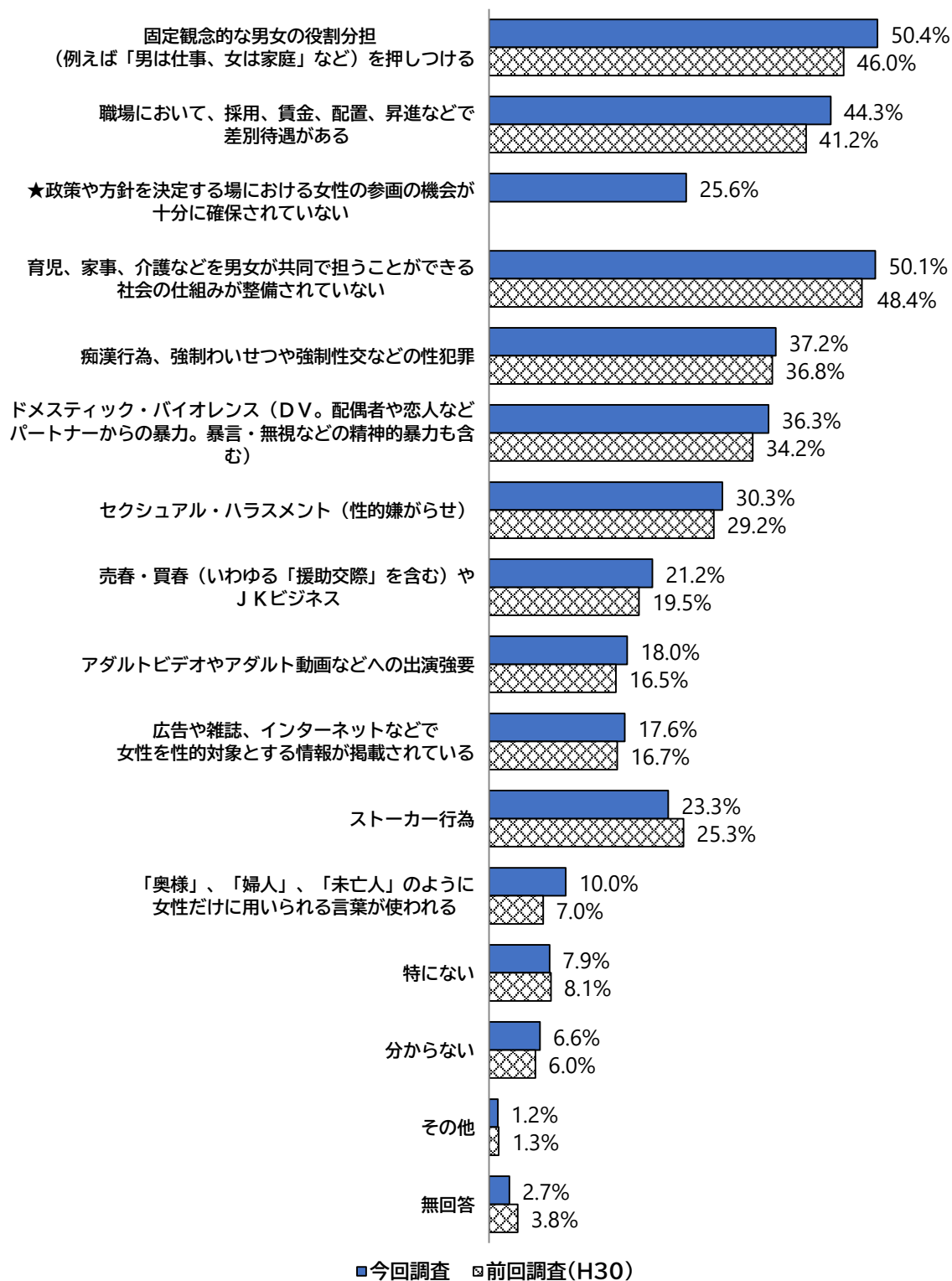


2 女性の人権について

【問5】

あなたが、女性に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



★は今回新たに設けた項目

- ・ 「固定観念的な男女の役割分担を押しつける」が50.4%と最も高く、次いで「育児、家事、介護などを男女が共同で担うことができる社会の仕組みが整備されていない」が50.1%、「職場において、採用、賃金、配置、昇進などで差別待遇がある」が44.3%となっている。
- ・ 今回新たに設けた「政策や方針を決定する場における女性の参画の機会が十分に確保されていない」は25.6%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「固定観念的な男女の役割分担を押しつける」が4.4ポイント増、「職場において、採用、賃金、配置、昇進などで差別待遇がある」が3.1ポイント増となっている。一方、「ストーカー行為」が2.0ポイント減となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ 子どもを産むことや理想の母親像が固定化していること。
- ・ 中絶をはじめ性や生殖に関する自己決定権が尊重されていないこと。
- ・ 受験における男女枠

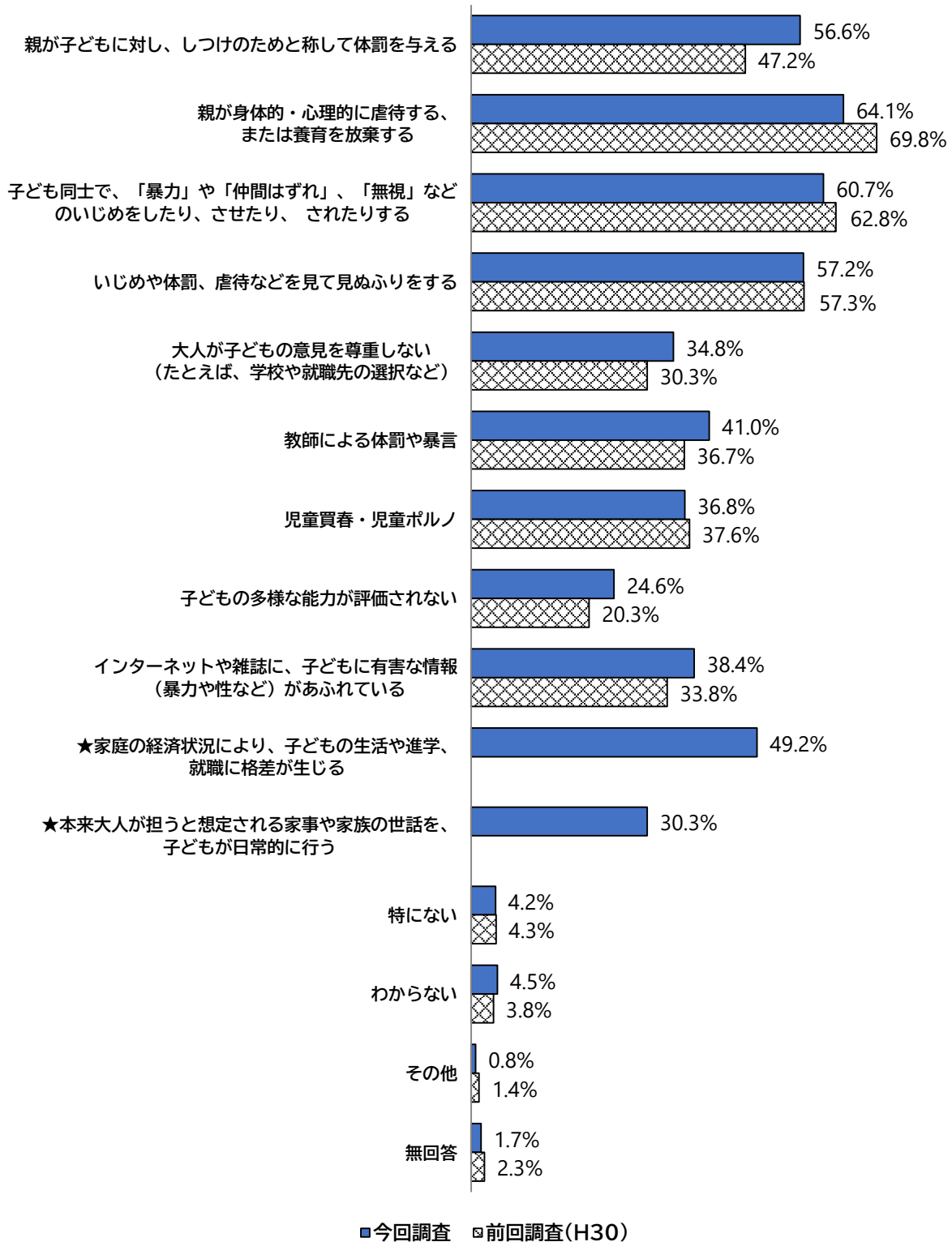
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
固定観念的な男女の役割分担を押しつける	50.4%	47.0%
職場において、採用、賃金、配置、昇進などで差別待遇がある	44.3%	39.0%
政策や方針を決定する場における女性の参画の機会が十分に確保されていない	25.6%	
育児、家事、介護などを男女が共同で担うことができる社会の仕組みが整備されていない	50.1%	
痴漢行為、強制わいせつや強制性交などの性犯罪	37.2%	
ドメスティック・バイオレンス	36.3%	31.6%
セクシュアル・ハラスメント	30.3%	42.0%
売春・買春やJKビジネス	21.2%	13.3%
アダルトビデオやアダルト動画などへの出演強要	18.0%	8.1%
広告や雑誌、インターネットなどで女性を性的対象とする情報が掲載されている	17.6%	
ストーカー行為	23.3%	
女性だけに用いられる言葉が使われる	10.0%	10.9%
特になし	7.9%	18.0%
わからない	6.6%	
その他	1.2%	1.7%

3 子どもの人権について

【問6】

あなたが、子どもに関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



★は今回新たに設けた項目

- ・ 「親が身体的、心理的に虐待する、または養育を放棄する」が 64.1%と最も高く、次いで「子ども同士で、「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをしたり、させたり、されたりする」が 60.7%、「いじめや体罰、虐待などを見て見ぬふりをする」が 57.2%となっている。
- ・ 今回新たに設けた「家庭の経済状況により、子どもの生活や進学、就職に格差が生じる」は 49.2%、「本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を、子どもが日常的に行う」は 30.3%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「親が子どもに対し、しつけのためと称して体罰を与える」が 9.4 ポイント増、「教師による体罰や暴言」が 4.3 ポイント増となっている。一方、「親が身体的・心理的に虐待する、または養育を放棄する」は、5.7 ポイント減となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ 不登校の子どもたちの受け入れ
- ・ ひとり親家庭であることへのいじめ
- ・ ジェンダーや個性が尊重されない管理的な校則、学校教育

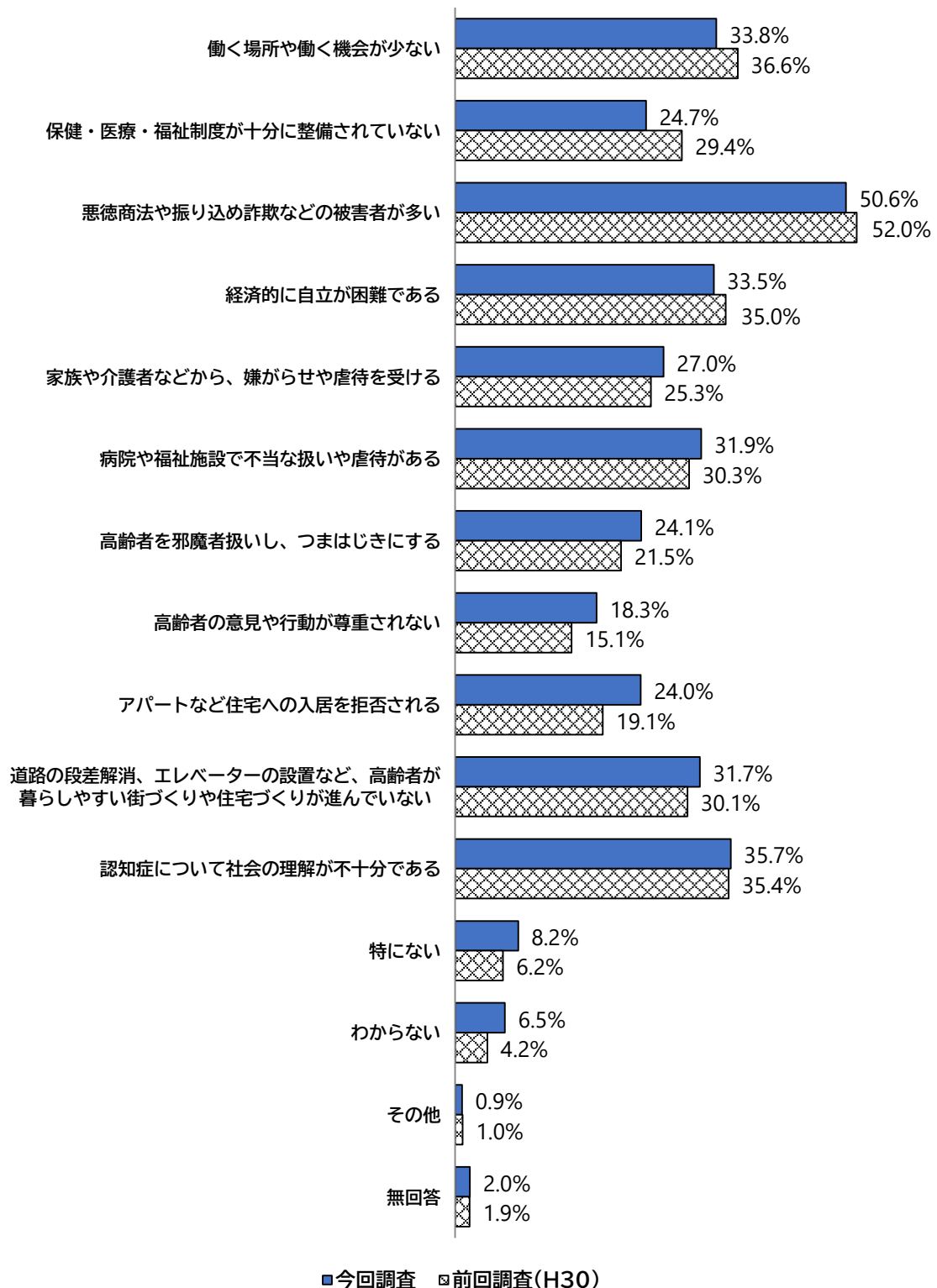
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
親が子どもに対し、しつけのためと称して体罰を与える	56.6%	(体罰を受けること)
教師による体罰や暴言	41.0%	34.8%
親が身体的・心理的に虐待する、または養育を放棄する	64.1%	53.9%
子ども同士で、「暴力」や「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをしたり、させたり、されたりする	60.7%	65.2%
いじめや体罰、虐待などを見て見ぬふりをする	57.2%	56.0%
大人が子どもの意見を尊重しない	34.8%	31.4%
児童買春・児童ポルノ	36.8%	23.7%
子どもの多様な能力が評価されない	24.6%	
インターネットや雑誌に、子どもに有害な情報があふれている	38.4%	
家庭の経済状況により、子どもの生活や進学、就職に格差が生じる	49.2%	
本来大人が担うと想定される家事や家族の世話を、子どもが日常的に行う	30.3%	
特になし	4.2%	12.0%
わからない	4.5%	
その他	0.8%	1.5%

4 高齢者の人権について

【問7】

あなたが、高齢者に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い」が50.6%と最も高く、次いで、「認知症について社会の理解が不十分である」が35.7%「働く場所や働く機会が少ない」が33.8%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「アパートなど住宅への入居を拒否される」が4.9ポイント増、「保健・医療・福祉制度が十分に整備されていない」が4.7ポイント減となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ 「年寄り＝老害」という先入観
- ・ 年金の切り下げや保険料、医療費の増額による負担増

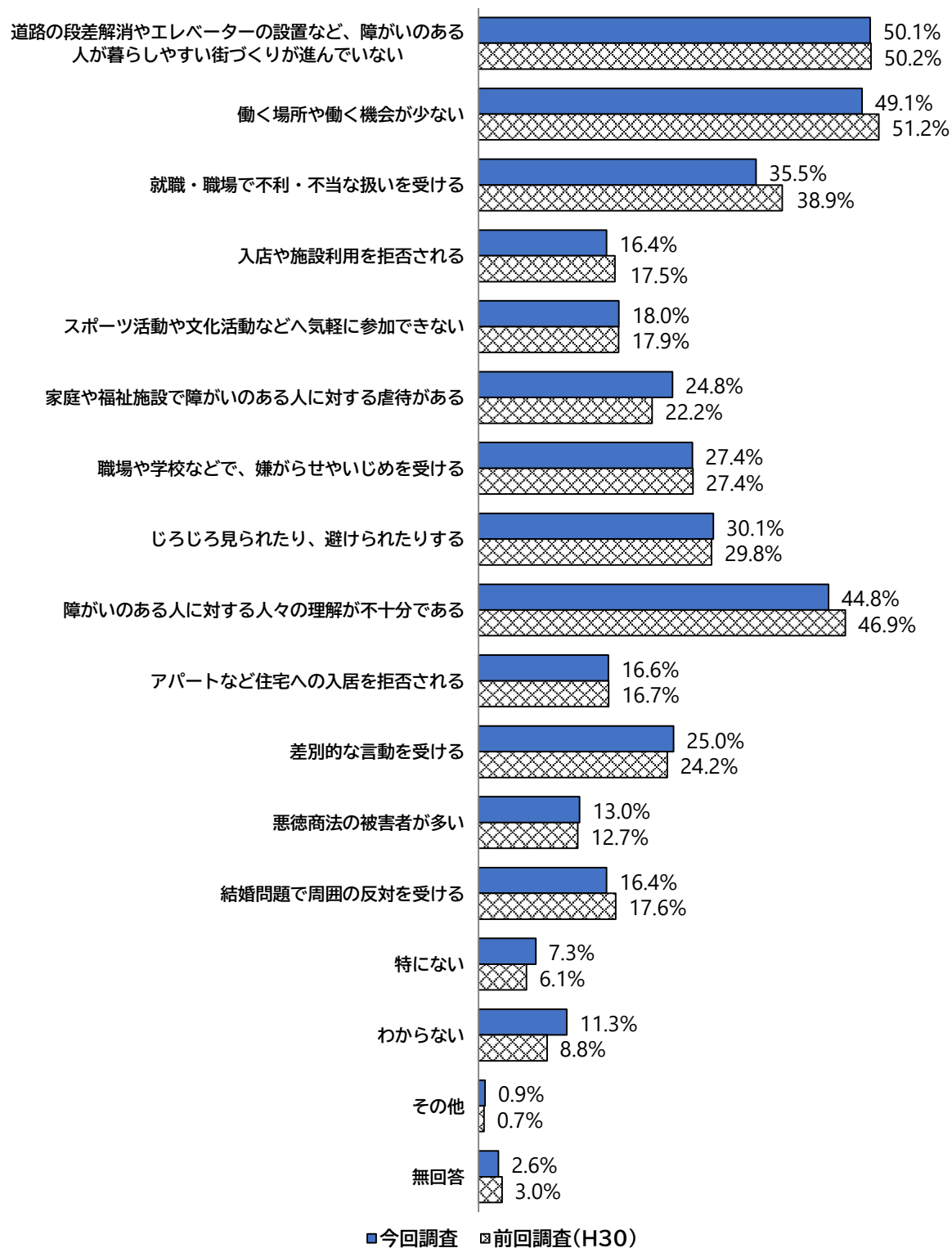
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
働く場所や働く機会が少ない	33.8%	28.4%
保健・医療・福祉制度が十分に整備されていない	24.7%	
悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多い	50.6%	44.7%
経済的に自立が困難である	33.5%	27.9%
家族や介護者などから、嫌がらせや虐待を受ける	27.0%	22.0%
病院や福祉施設で不当な扱いや虐待がある	31.9%	33.6%
高齢者を邪魔者扱いし、つまはじきにする	24.1%	31.7%
高齢者の意見や行動が尊重されない	18.3%	14.9%
アパートなど住宅への入居を拒否される	24.0%	22.2%
道路の段差解消、エレベーターの設置など、高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいない	31.7%	
認知症について社会の理解が不十分である	35.7%	
特になし	8.2%	13.5%
わからない	6.5%	
その他	0.9%	0.7%

5 障がいのある人の人権について

【問8】

あなたが、障がいのある人に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「道路の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい街づくりが進んでいない」が50.1%と最も高く、次いで、「働く場所や働く機会が少ない」が49.1%、「障がいのある人に対する人々の理解が不十分である」が44.8%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「家庭や福祉施設で障がいのある人に対する虐待がある」が2.6ポイント増、「就職・職場で不利・不当な扱いを受ける」が3.4ポイント減となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ 障害者手帳に該当しない障がいに対して何ら配慮がない。
- ・ 精神障がいのある人が退院できずに、地域で生活できない。
- ・ 保護者の考え方による教育や生活の差

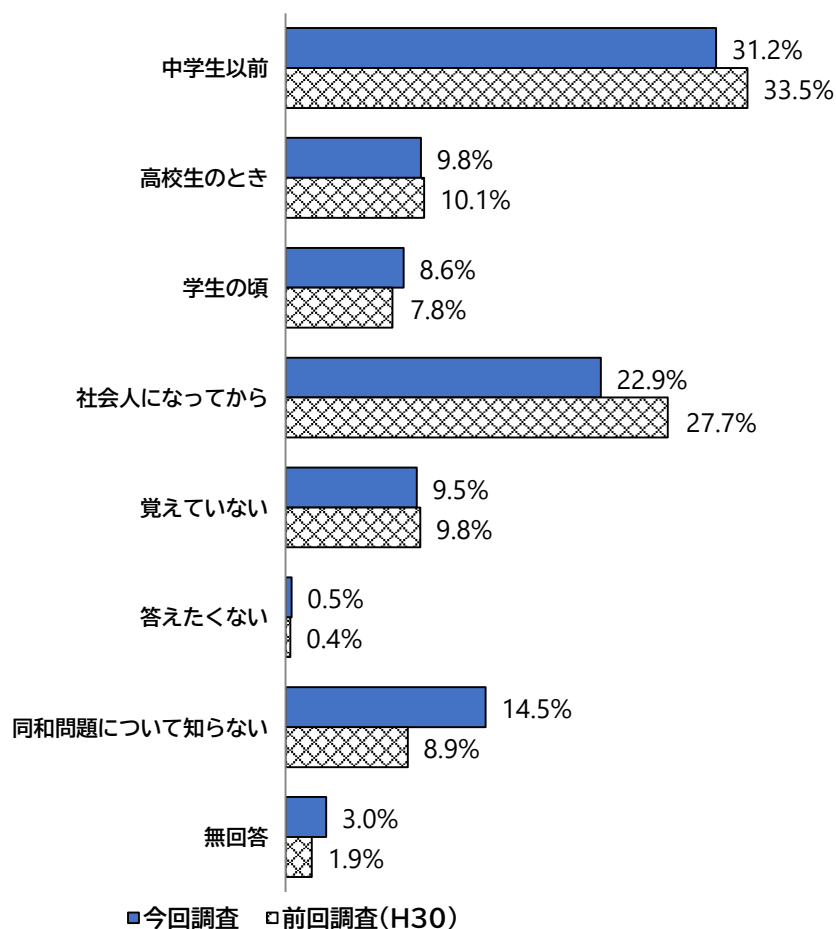
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
道路の段差解消やエレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい街づくりが進んでいない	50.1%	
働く場所や働く機会が少ない	49.1%	
就職・職場で不利・不当な扱いを受ける	35.5%	38.2%
入店や施設利用を拒否される	16.4%	13.2%
スポーツ活動や文化活動などへ気軽に参加できない	18.0%	14.9%
家庭や福祉施設で障がいのある人に対する虐待がある	24.8%	
職場や学校などで、嫌がらせやいじめを受ける	27.4%	43.3%
じろじろ見られたり、避けられたりする	30.1%	40.7%
障がいのある人に対する人々の理解が不十分である	44.8%	
アパートなど住宅への入居を拒否される	16.6%	12.5%
差別的な言動を受ける	25.0%	38.9%
悪徳商法の被害者が多い	13.0%	8.8%
結婚問題で周囲の反対を受ける	16.4%	19.0%
特になし	7.3%	18.4%
わからない	11.3%	
その他	0.9%	1.4%

6 同和問題について

【問9】

あなたが、同和問題（部落問題、部落差別）について、はじめて知ったのはいつですか。次の中から当てはまるものをどれか1つ選んで番号に○をつけてください。

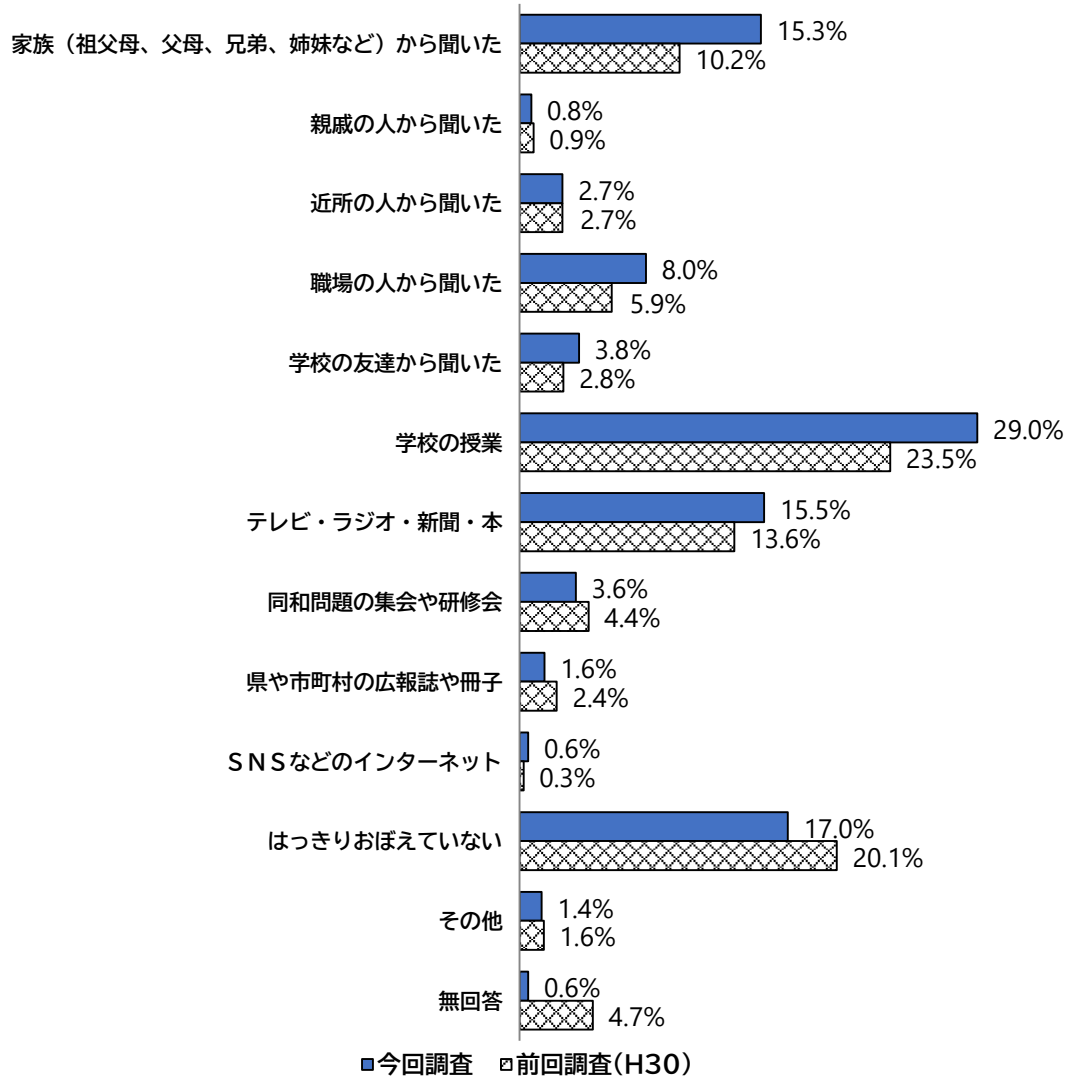


- ・ 同和問題を知った時期については、「**中学生以前**」が31.2%と最も高く、次いで「**社会人になってから**」が22.9%となっている。また、「**同和問題について知らない**」が14.5%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「**中学生以前**」が2.3ポイント減、「**社会人になってから**」は4.8ポイント減に対し、「**同和問題について知らない**」が5.6ポイント増となっている。

【問9-2】

【問9】で「同和問題について知らない」以外を答えた方におたずねします。

あなたが、同和問題（部落問題、部落差別）について、はじめて知ったきっかけは何ですか。次の中から当てはまるものをどれか1つ選んで番号に○をつけてください。



- ・ 知ったきっかけについては、「学校の授業」が29.0%と最も高く、次いで「はっきりおぼえていない」が17.0%、「テレビ・ラジオ・新聞・本」が15.5%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「はっきりおぼえていない」が3.1ポイント減となっているが、「学校の授業」が5.5ポイント、「家族から聞いた」が5.1ポイント、「職場の人から聞いた」が2.1ポイント、それぞれ増となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ 映画やドラマ
- ・ 職場における研修
- ・ 本人から聞いたこと

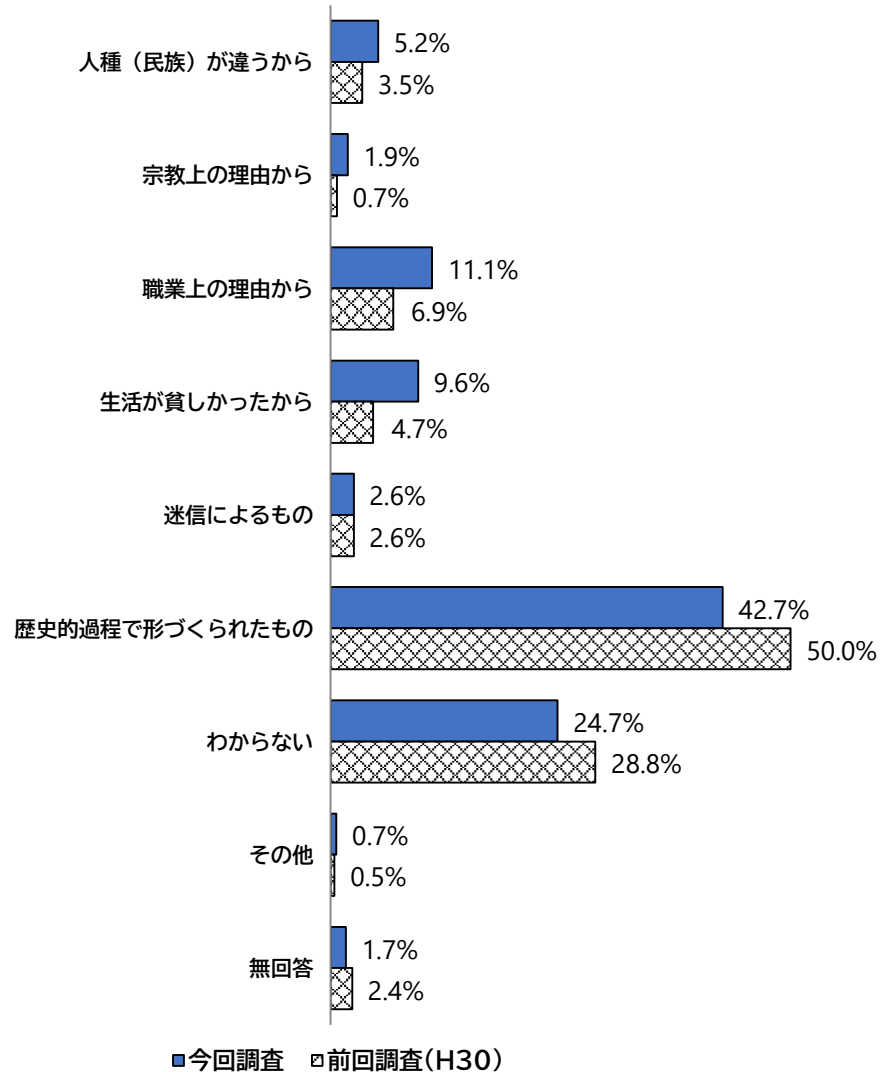
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
家族（祖父母、父母、兄弟、姉妹など）から聞いた	15.3%	16.3%
親戚の人から聞いた	0.8%	1.2%
近所の人から聞いた	2.7%	1.5%
職場の人から聞いた	8.0%	3.7%
学校の友達から聞いた	3.8%	2.6%
学校の授業	29.0%	27.8%
テレビ・ラジオ・新聞・本	15.5%	15.5%
同和問題の集会や研修会	3.6%	2.7%
県や市町村の広報誌や冊子	1.6%	1.7%
SNSなどのインターネット	0.6%	3.1%
はっきりおぼえていない	17.0%	10.4%
その他	1.4%	

【問9-3】

【問9】で「同和問題について知らない」以外を答えた方におたずねします。

あなたは、「同和地区」、「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けてきた地区は
どういう理由でできたとお考えですか。次の中から当てはまるものを1つ選んで番号
に○をつけてください。

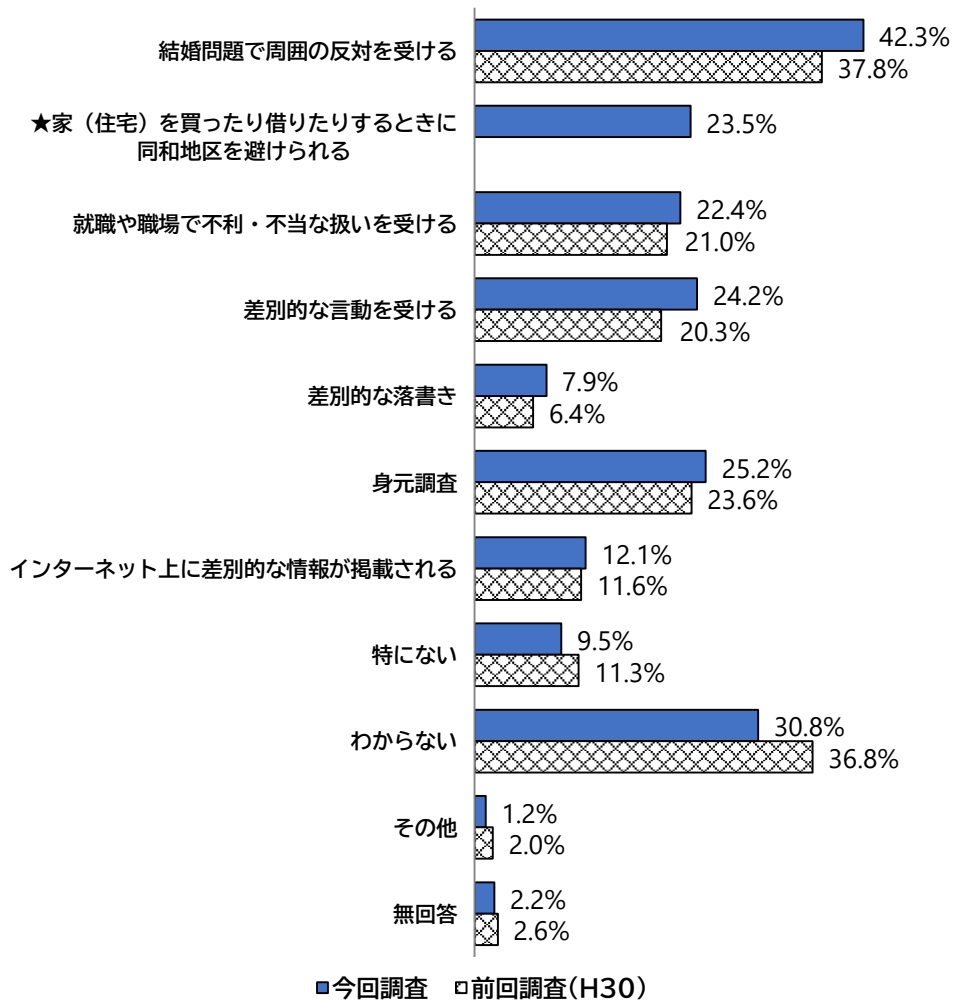


- ・ 「歴史的過程で形づくられたもの」が42.7%と最も高く、次いで「わからない」が24.7%、「職業上の理由から」が11.1%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「歴史的過程で形づくられたもの」が7.3ポイント減となっているが、「生活が貧しかったから」が4.9ポイント増、「職業上の理由から」が4.2ポイント増となっている。

【問9-4】

【問9】で「同和問題について知らない」以外を答えた方におたずねします。

あなたは、同和問題（部落問題、部落差別）に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



★は今回新たに設けた項目

- ・「結婚問題で周囲の反対を受ける」が42.3%と最も高く、次いで「わからない」が30.8%、「身元調査」が25.2%となっている。
- ・今回新たに設けた「家（住宅）を買ったり借りたりするときに同和地区を避けられる」は23.5%となっている。
- ・前回の調査結果と比較すると、「結婚問題で周囲の反対を受ける」が4.5ポイント増、「差別的な言動を受ける」が3.9ポイント増となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・現在、同和問題が実際に起きているのか分からない。自分が実際に同和問題を見たこと（聞いたこと）がないので想像できない。

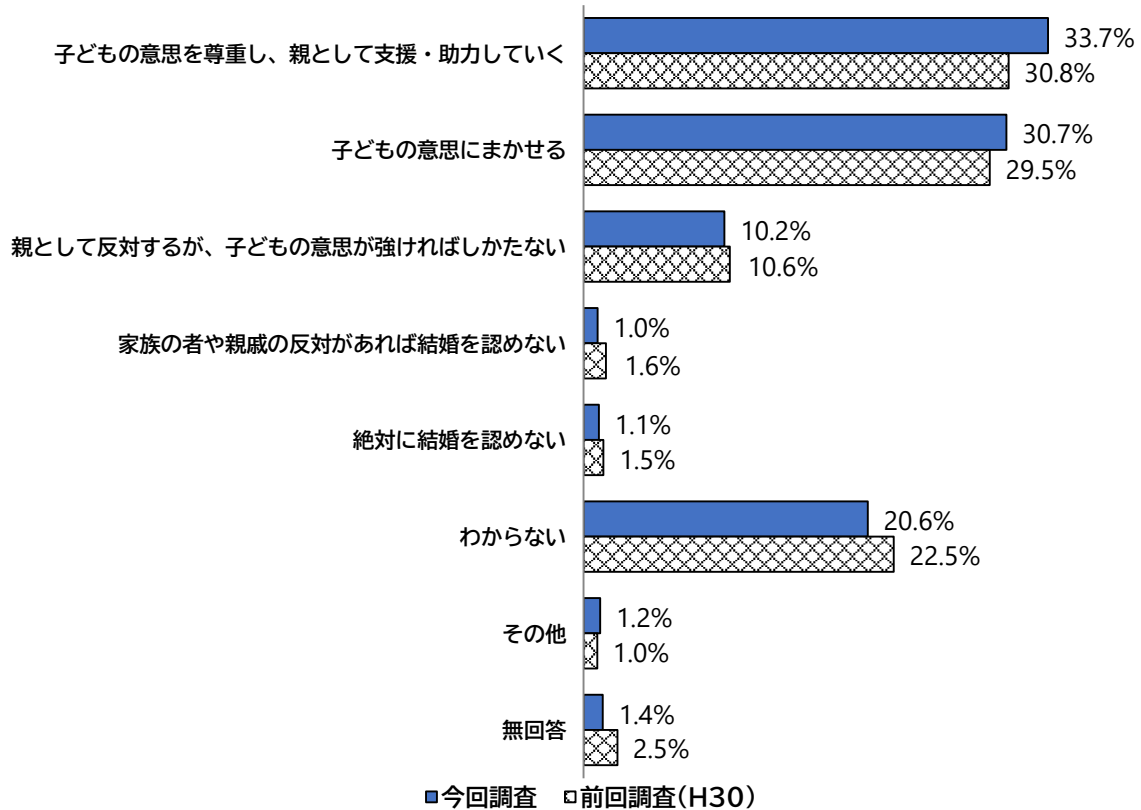
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
結婚問題で周囲の反対を受ける	42.3%	40.4%
家（住宅）を買ったり借りたりするときに同和地区を避けられる	23.5%	
就職や職場で不利・不当な扱いを受ける	22.4%	27.5%
差別的な言動を受ける	24.2%	32.3%
差別的な落書き	7.9%	12.5%
身元調査	25.2%	24.3%
インターネット上に差別的な情報が掲載される	12.1%	14.9%
特になし	9.5%	24.3%
わからない	30.8%	
その他	1.2%	1.6%

【問9-5】

【問9】で「同和問題について知らない」以外を答えた方におたずねします。

(仮に)あなたにお子さんがいらっしゃるとして、そのお子さんが同和地区出身の方と結婚したいと相談してこられた場合はどうされますか。仮定の話として考えた上で、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。



- ・ 結婚に肯定的な回答（「子どもの意思を尊重し、親として支援・助力していく」（33.7%）、「子どもの意思にまかせる」（30.7%））が合計で **64.4%** となっている。一方で否定的な回答（「親として反対するが、子どもの意思が強ければしかたない」（10.2%）、「家族の者や親戚の反対があれば結婚を認めない」（1.0%）、「絶対に結婚を認めない」（1.1%））は合計で **12.3%** となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、肯定的回答（前回 60.3%）が 4.1 ポイント増となっており、「わからない」が 1.9 ポイント減、否定的回答（前回 13.7%）が 1.4 ポイント減となっている。

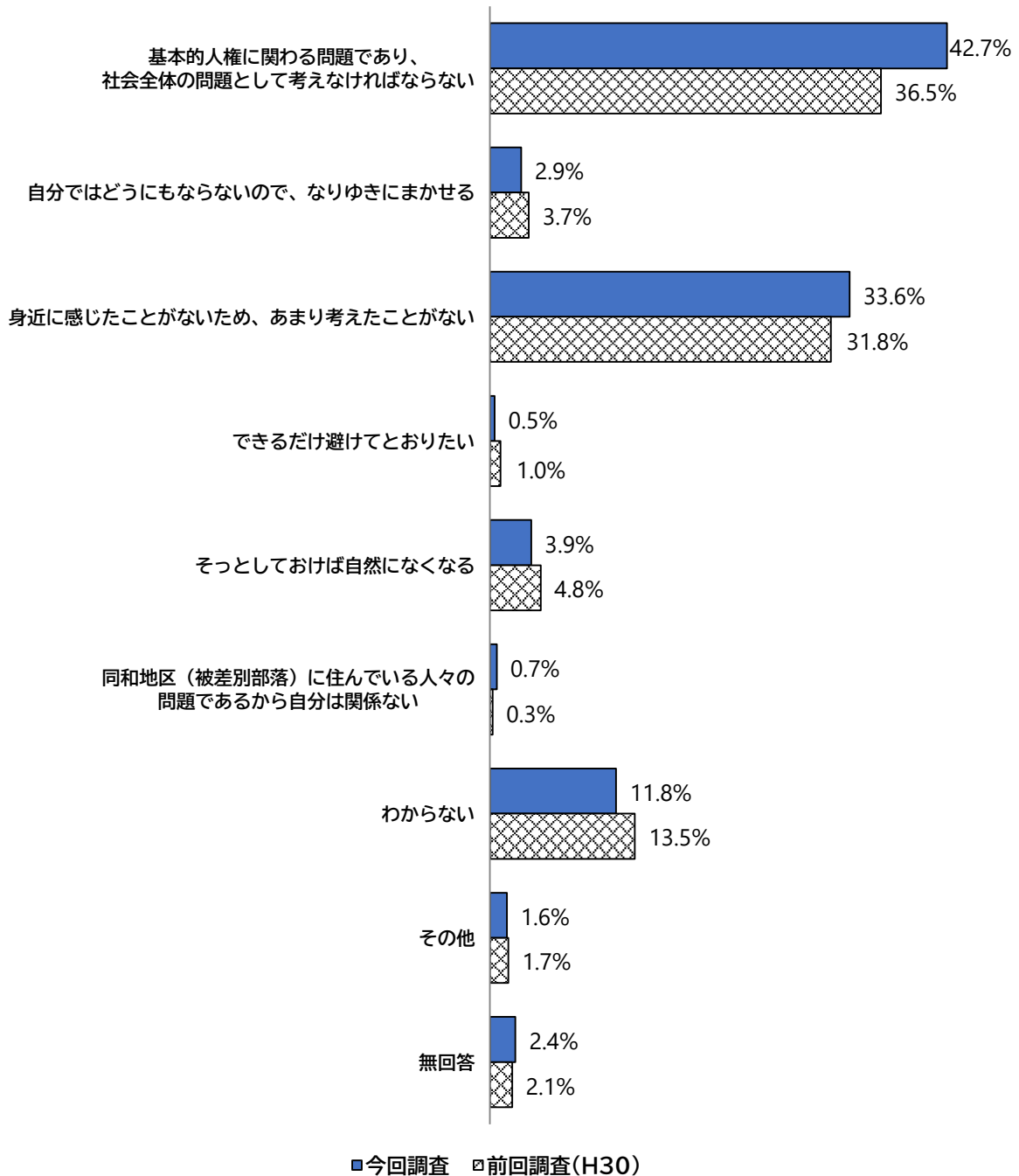
◆「その他」の主な内容

- ・ そもそもそのようなことを問題にすることがおかしい。時代が違うのではないか。
- ・ 同和地区ということ自体気にしない。
- ・ 結婚相手の人柄、価値観や人間としての考え方、性格等で判断する。

【問9-6】

【問9】で「同和問題について知らない」以外を答えた方におたずねします。

あなたは、同和問題（部落問題、部落差別）についてどのように考えますか。次の中から当てはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「基本的人権に関わる問題であり、社会全体の問題として考えなければならない」が42.7%と最も高く、次いで「身近に感じたことがないため、あまり考えたことがない」が33.6%、「わからない」が11.8%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「基本的人権に関わる問題であり、社会全体の問題として考えなければならない」が6.2ポイント増となっている。

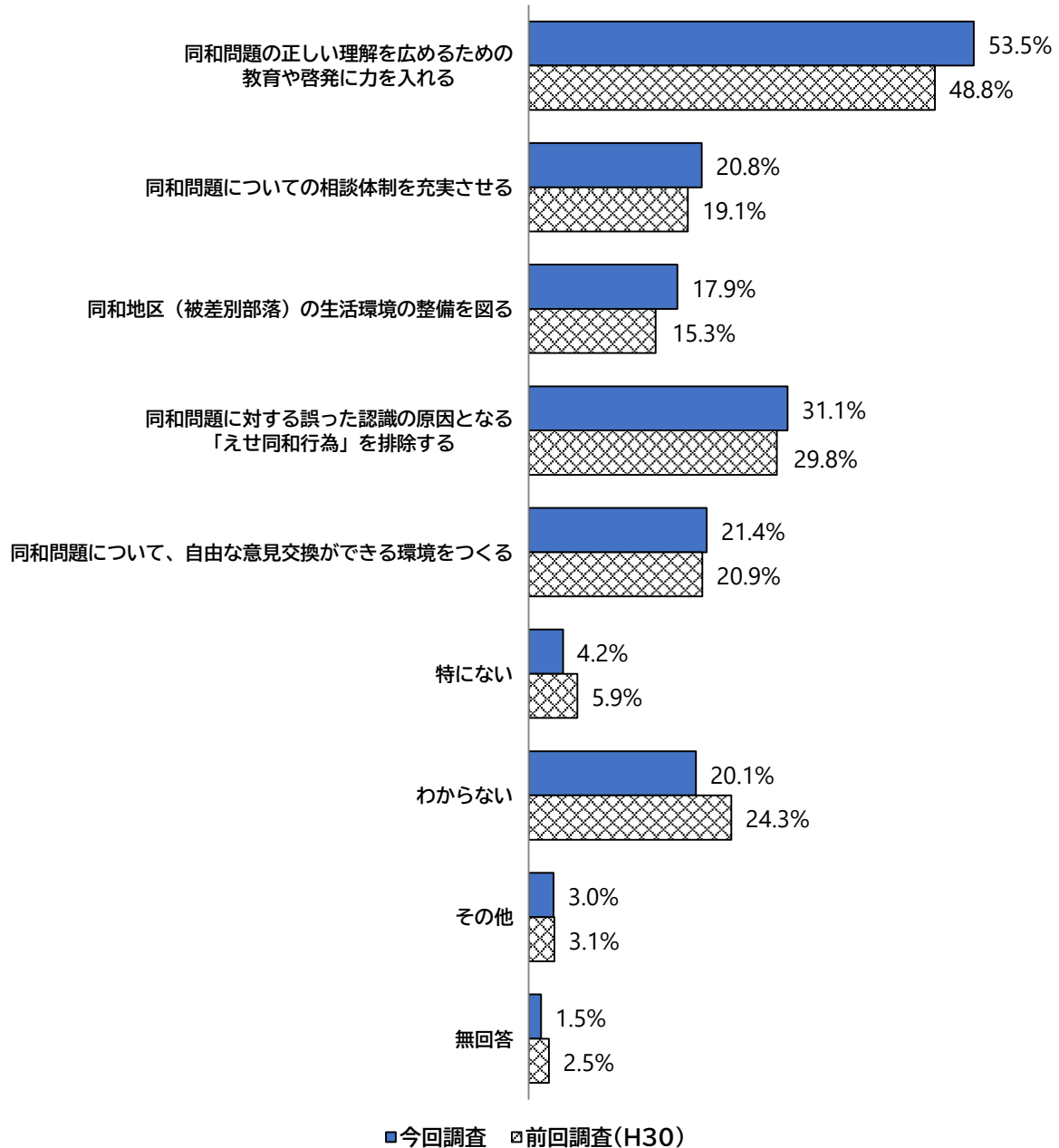
◆「その他」の主な内容

- ・すべての人は平等との教育をすべき。
- ・歴史的に同和問題があることはみんな知らないといけないことだが、研修などで聞くと昔の事例が多く、現在の状況がわからない。
- ・同和問題を実感したことがないし、未だに存在しているのかもわからない。

【問9-7】

【問9】で「同和問題について知らない」以外を答えた方におたずねします。

あなたは、同和問題（部落問題、部落差別）を解決するためには、どのようなことをすればよいと思いますか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「同和問題の正しい理解を広めるための教育や啓発に力を入れる」が53.5%と最も高く、次いで「同和問題に対する誤った認識の原因となる「えせ同和行為」を排除する」が31.1%、「同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が21.4%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「同和問題の正しい理解を広めるための教育や啓発に力を入れる」が4.7ポイント増、「わからない」が4.2ポイント減となっている。

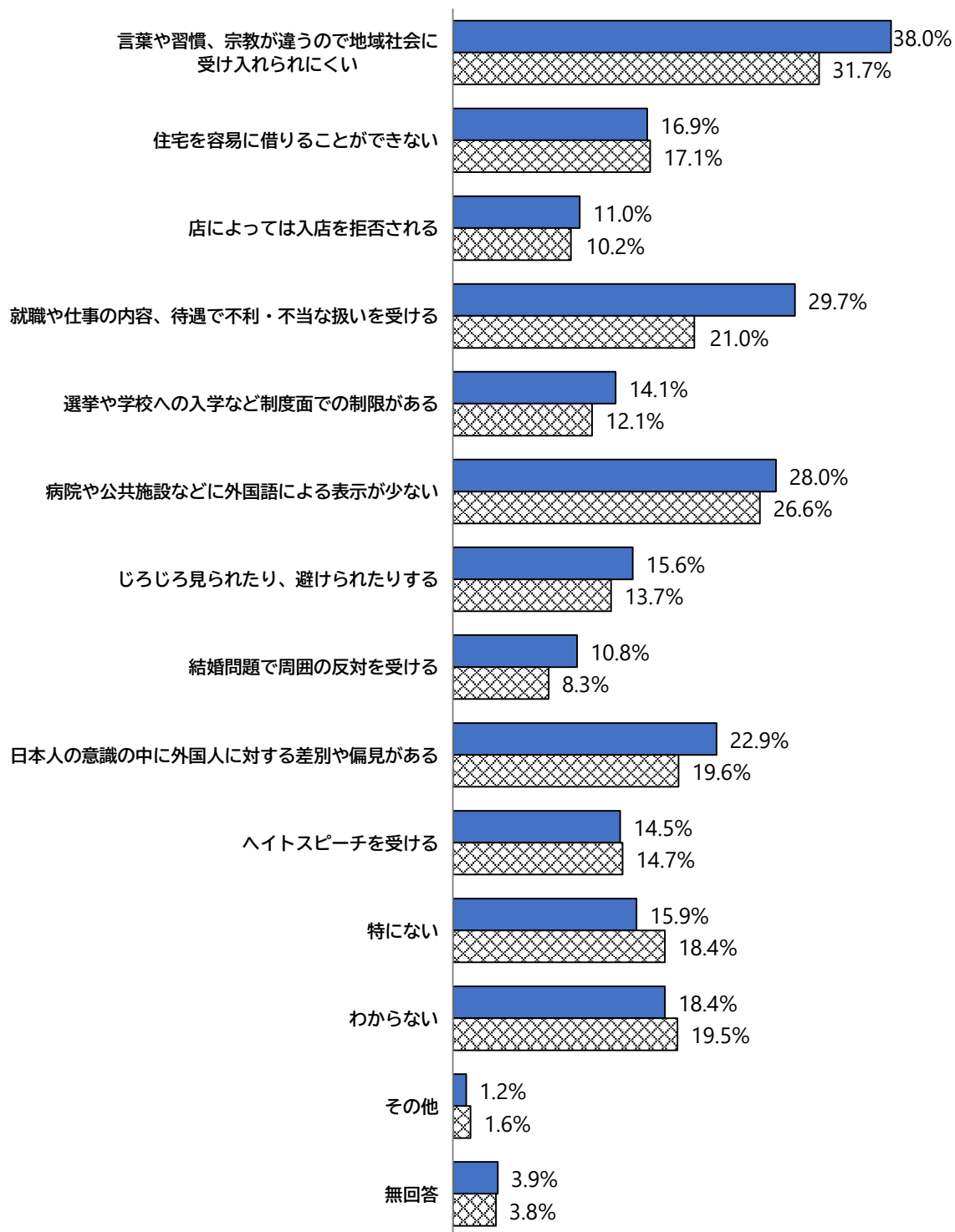
◆「その他」の主な内容

- ・正しい知識を持つことは大切だが、知ることによって差別等を助長させてしまうのではないかと心配する。被差別部落の方々の意見が尊重された交流を希望する。
- ・同和問題だけではなく、全てにおいて差別しない心を育てる教育を幼い時から行う。
- ・最近は気にしている人は少ないのでわざわざ表に出さなくてよい。

7 外国人の人権について

【問10】

あなたが、日本に居住している外国人に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



■今回調査 □前回調査(H30)

- ・ 「言葉や習慣、宗教が違うので地域社会に受け入れられにくい」が38.0%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇で不利・不当な扱いを受ける」が29.7%、「病院や公共施設などに外国語による表示が少ない」が28.0%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「就職や仕事の内容、待遇で不利・不当な扱いを受ける」が8.7ポイント増、「言葉や習慣、宗教が違うので地域社会に受け入れられにくい」が6.3ポイント増、「日本人の意識の中に外国人に対する差別や偏見がある」が3.3ポイント増となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ 捜査や裁判手続きで正確な通訳が選任されず、裁判を受ける権利や適正手続きが守られていない。
- ・ 難民として保護されるべき外国人が難民として日本国に受け入れられていない。
- ・ 出入国在留管理局における被收容者に対する対応
- ・ 技能実習制度による虐待や搾取の横行
- ・ 警察の外国人に対する差別的な職務質問、情報収集など

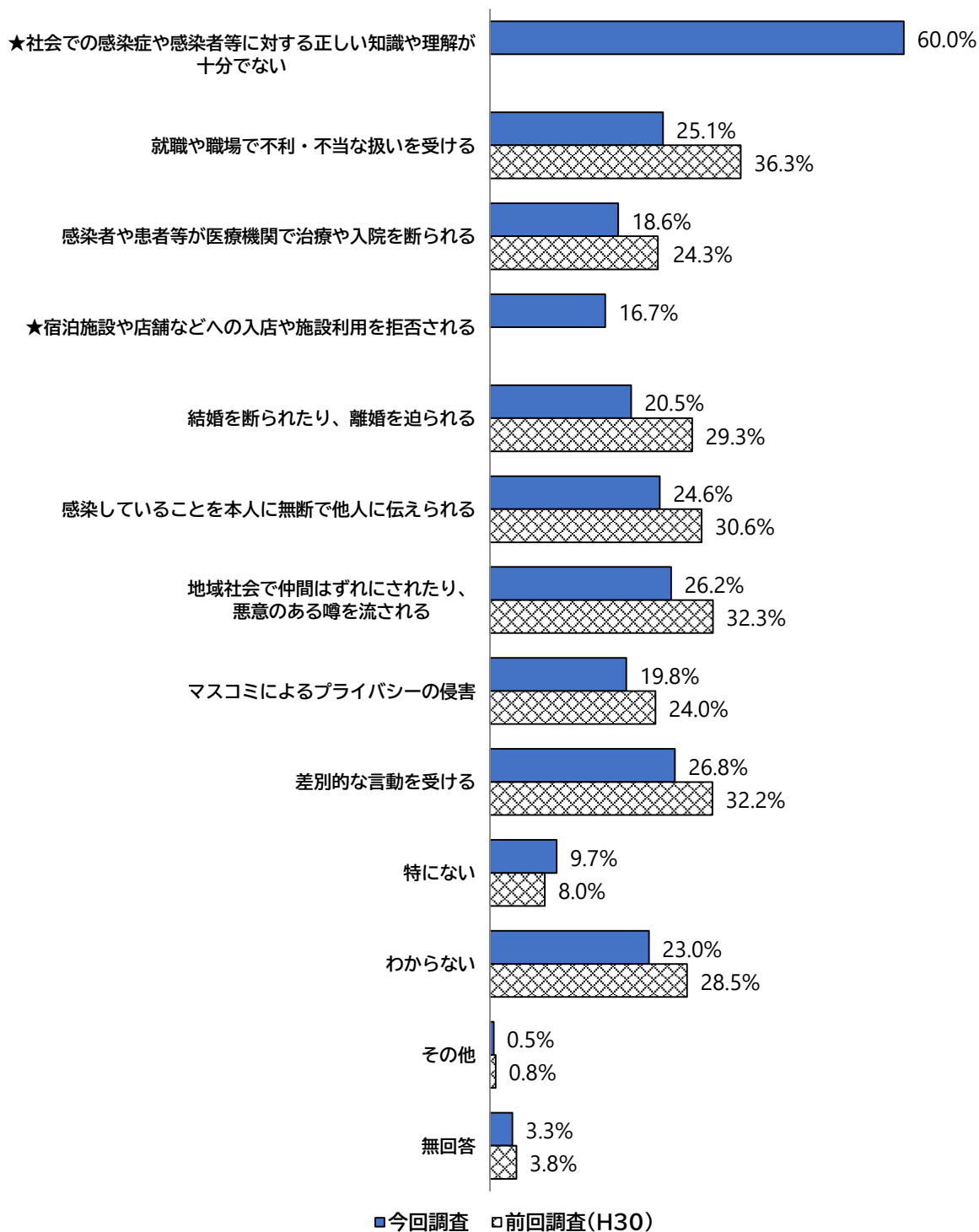
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
言葉や習慣、宗教が違うので地域社会に受け入れられにくい	38.0%	27.8%
住宅を容易に借りることができない	16.9%	12.5%
店によっては入店を拒否される	11.0%	5.1%
就職や仕事の内容、待遇で不利・不当な扱いを受ける	29.7%	22.1%
選挙や学校への入学など制度面での制限がある	14.1%	
病院や公共施設などに外国語による表示が少ない	28.0%	
じろじろ見られたり、避けられたりする	15.6%	18.8%
結婚問題で周囲の反対を受ける	10.8%	12.3%
日本人の意識の中に外国人に対する差別や偏見がある	22.9%	
ヘイトスピーチを受ける	14.5%	
特にない	15.9%	38.3%
わからない	18.4%	
その他	1.2%	2.2%

8 「H I V感染者・エイズ患者およびその家族」や 「ハンセン病患者・回復者およびその家族」等の人権について

【問11】

あなたが、「H I V感染者・エイズ患者およびその家族」や「ハンセン病患者・回復者およびその家族」等に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



★は今回新たに設けた項目

- ・今回新たに設けた「社会での感染症や感染者等に対する正しい知識や理解が十分でない」が60.0%と最も高く、次いで、「差別的な言動を受ける」が26.8%「地域社会で仲間はずれにされたり、悪意のある噂を流される」が26.2%となっている。
- ・今回新たに設けた「宿泊施設や店舗などへの入店や施設利用を拒否される」は16.7%となっている。
- ・前回の調査結果と比較すると、「就職や職場で不利・不当な扱いを受ける」が11.2ポイント減、「結婚を断られたり、離婚を迫られる」が8.8ポイント減、「地域社会で仲間はずれにされたり、悪意のある噂を流される」が6.1ポイント減となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ハンセン病問題や薬害問題が、国策によって生み出された差別であることの教育

【参考】全国調査との比較

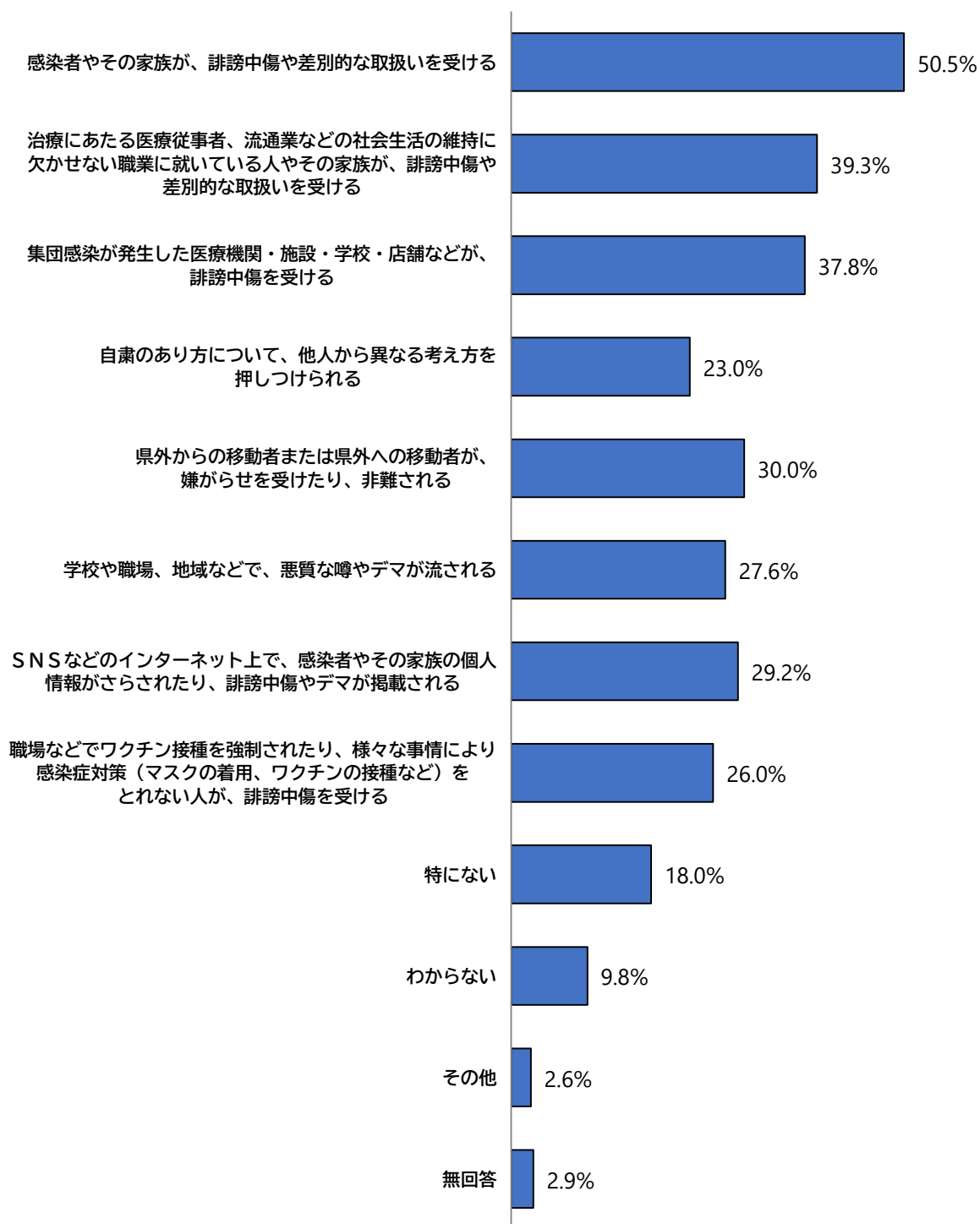
項目	県民意識調査	内閣府調査
		ハンセン病患者等
社会での感染症や感染者等に対する正しい知識や理解が十分でない	60.0%	
就職や職場で不利・不当な扱いを受ける	25.1%	16.3%
感染者や患者等が医療機関で治療や入院を断られる	18.6%	10.3%
宿泊施設や店舗などへの入店や施設利用を拒否される	16.7%	7.6%
結婚を断られたり、離婚を迫られる	20.5%	19.3%
感染していることを本人に無断で他人に伝えられる	24.6%	
地域社会で仲間はずれにされたり、悪意のある噂を流される	26.2%	
マスコミによるプライバシーの侵害	19.8%	
差別的な言動を受ける	26.8%	16.7%
特になし	9.7%	55.5%
わからない	23.0%	
その他	0.5%	2.1%

9 新型コロナウイルス感染症に関する人権について

【問12】

あなたが、新型コロナウイルス感染症に関する人権問題に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。

次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



■今回調査

- ・ 令和2年以降の新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、今回新たに設けた設問である。
- ・ 「感染者やその家族が、誹謗中傷や差別的な取扱いを受ける」が50.5%と最も高く、次いで「治療にあたる医療従事者、流通業などの社会生活の維持に欠かせない職業に就いている人やその家族が、誹謗中傷や差別的な取扱いを受ける」が39.3%、「集団感染が発生した医療機関・施設・学校・店舗などが、誹謗中傷を受ける」が37.8%となっている。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行が始まって約2年半経過した時点での調査であることから、「その他」の自由記述の回答では、流行初期と比較すると新型コロナウイルス感染症に対する理解が広がってきているという意見があった。

◆「その他」の主な内容

- ・ 感染後、職場で無視されるようになった。
- ・ 「ワクチンを打つな」など異なる考えかたを押しつけられる。
- ・ 最近はコロナウイルス感染症に対する正しい理解者が多く、人権上問題があるとは思わない。

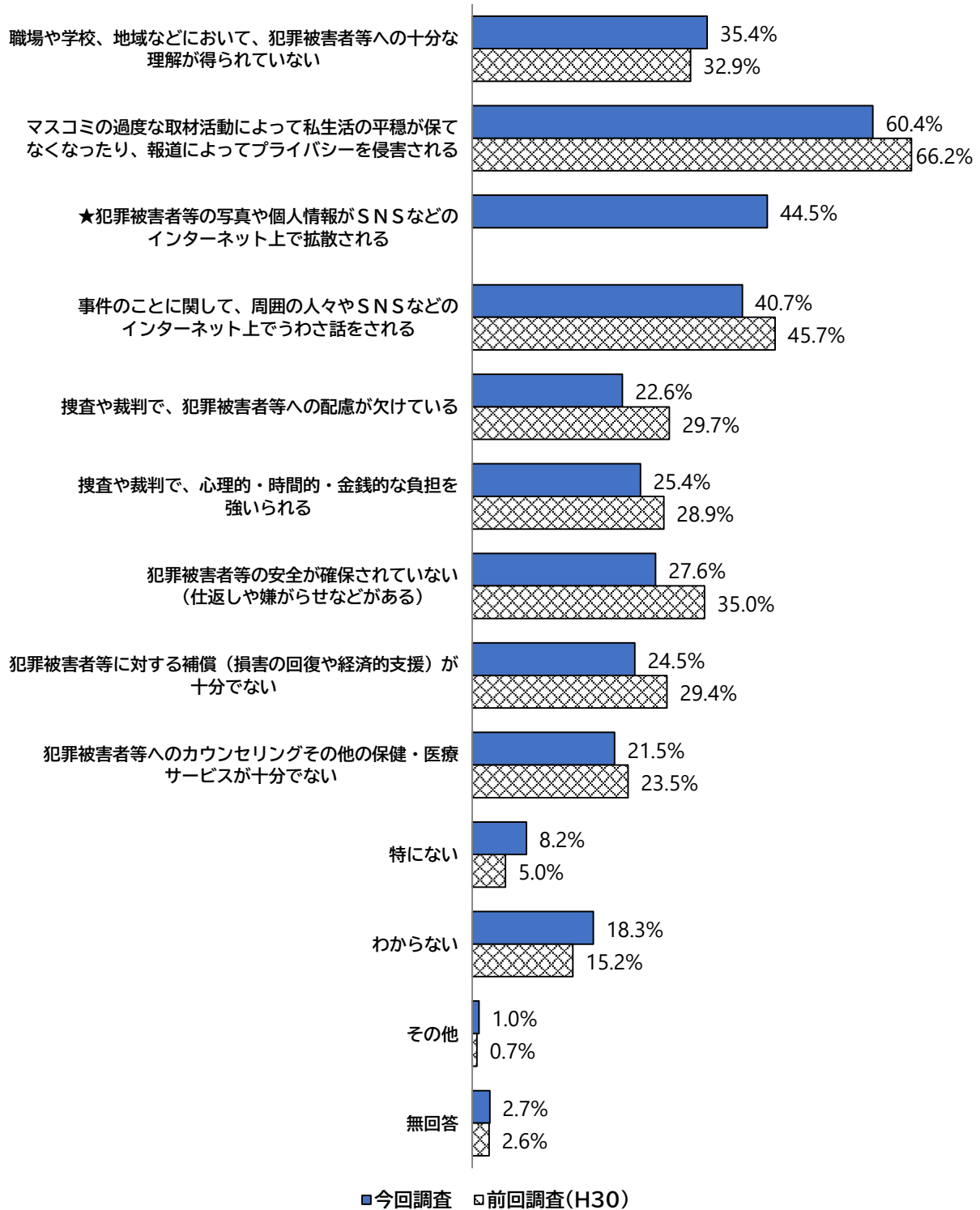
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
感染者やその家族が、誹謗中傷や差別的な取扱いを受ける	50.5%	38.2%
治療にあたる医療従事者、流通業などの社会生活の維持に欠かせない職業に就いている人やその家族が、誹謗中傷や差別的な取扱いを受ける	39.3%	35.8%
集団感染が発生した医療機関・施設・学校・店舗などが、誹謗中傷を受ける	37.8%	26.7%
自粛のあり方について、他人から異なる考え方を押しつけられる	23.0%	
県外からの移動者または県外への移動者が、嫌がらせを受けたり、非難される	30.0%	18.4%
学校や職場、地域などで、悪質な噂やデマが流される	27.6%	
SNSなどのインターネット上で、感染者やその家族の個人情報がさらされたり、誹謗中傷やデマが掲載される	29.2%	22.0%
職場などでワクチン接種を強制されたり、様々な事情により感染症対策（マスクの着用、ワクチンの接種など）をとれない人が、誹謗中傷を受ける	26.0%	20.8%
特にない	18.0%	31.1%
その他	2.6%	1.9%

10 犯罪被害者等の人権について

【問13】

あなたが、犯罪被害者等（事件・事故によって被害を受けた人およびその家族または遺族）に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。
次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



★は今回新たに設けた項目

- ・ 「マスコミの過度な取材活動によって私生活の平穩が保てなくなったり、報道によってプライバシーを侵害される」が60.4%と最も高く、次いで、今回新たに設けた「犯罪被害者等の写真や個人情報SNSなどのインターネット上で拡散される」が44.5%、「事件のことにに関して、周囲の人々やSNSなどのインターネット上でうわさ話をされる」が40.7%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「犯罪被害者等の安全が確保されていない」が7.4ポイント減、「マスコミの過度な取材活動によって私生活の平穩が保てなくなったり、報道によってプライバシーを侵害される」が5.8ポイント減となっている。一方で、「職場や学校、地域などにおいて、犯罪被害者等への十分な理解が得られていない」が2.5ポイント増となっている。

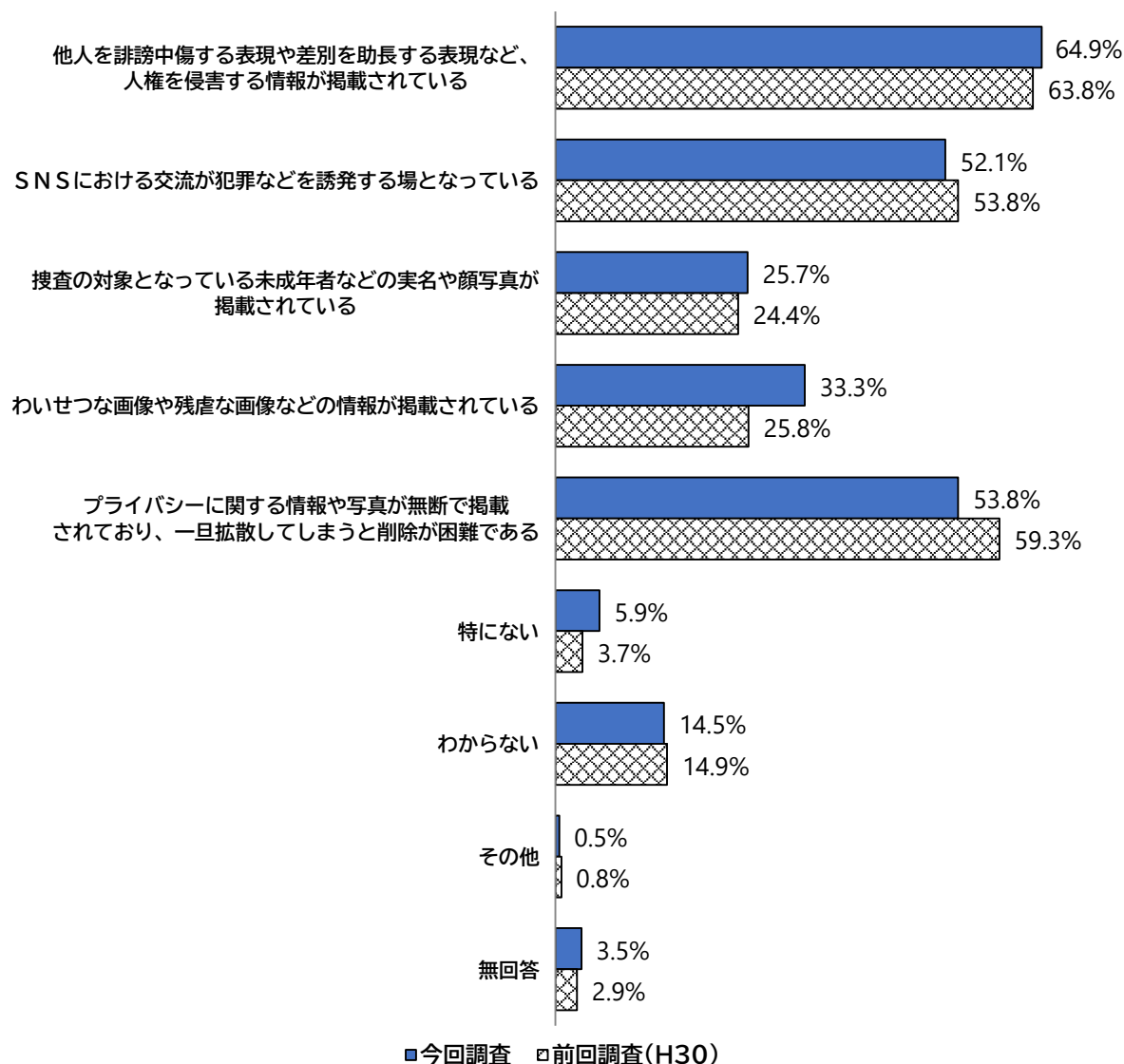
◆「その他」の主な内容

- ・ 犯罪者の人権が守られすぎていて、被害者は何度も何度も被害にあうようでおかしい。
- ・ 犯罪被害者、遺族は多様な意見を持っているにもかかわらず、加害者に対して死刑や厳罰を求めるものというステレオタイプを押し付けられ、自由な意見が言えない。

11 インターネットにおける人権問題について

【問14】

あなたは、インターネットにおいて、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



- ・ 「他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報が掲載されている」が64.9%と最も高く、次いで「プライバシーに関する情報や写真が無断で掲載されており、一旦拡散してしまうと削除が困難である」が53.8%、「SNSにおける交流が犯罪などを誘発する場となっている」が52.1%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「わいせつな画像や残虐な画像などの情報が掲載されている」（前回調査での項目名は「ネットポルノが存在している」）が7.5ポイント増、「プライバシーに関する情報や写真が無断で掲載されており、一旦拡散してしまうと削除が困難である」が5.5ポイント減となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ゲーム上では通用する言葉でも、面と向かって話す言葉では通用しないことに気がつかなくなる。
- ・国などの公権力が市民の個人情報を収集し、活用することについて十分な規制がなく、市民のプライバシーが侵害される状況にある。
- ・企業が市民の個人情報を収集し、儲けのために活用することが野放しで、十分な規制がない。

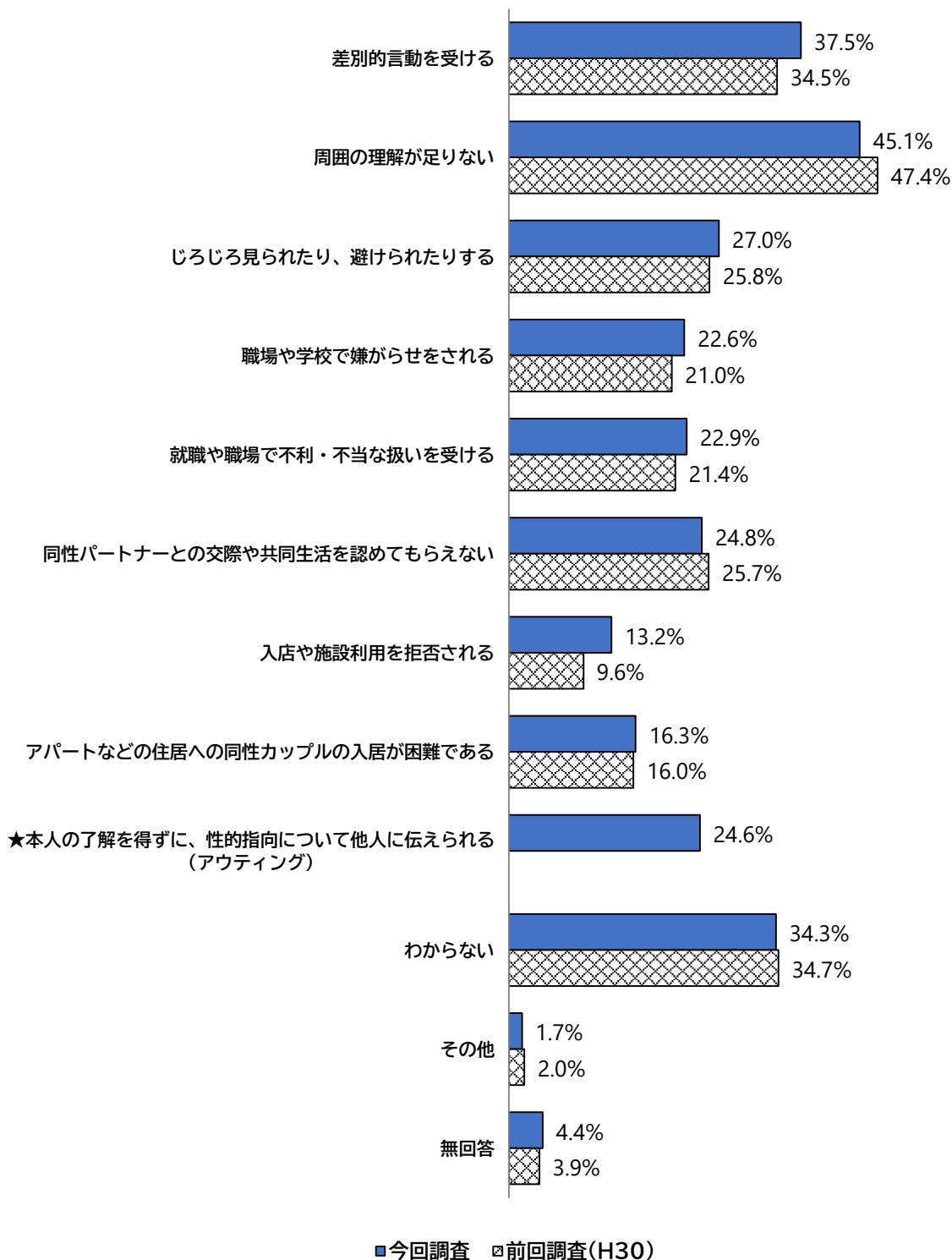
【参考】全国調査との比較

項目	県民意識調査	内閣府調査
他人を誹謗中傷する表現や差別を助長する表現など、人権を侵害する情報が掲載されている	64.9%	(他人を誹謗中傷する情報が掲載) 67.7%
		(差別する気持ちを起こさせたり、助長する情報が掲載) 42.8%
SNSにおける交流が犯罪などを誘発する場となっている	52.1%	37.0%
捜査の対象となっている未成年者などの実名や顔写真が掲載されている	25.7%	17.9%
わいせつな画像や残虐な画像などの情報が掲載されている	33.3%	
プライバシーに関する情報や写真が無断で掲載されており、一旦拡散してしまうと削除が困難である	53.8%	42.5%
特にない	5.9%	14.7%
わからない	14.5%	
その他	0.5%	1.5%

12 性的マイノリティ（LGBT等）の人権について

【問15】

あなたが、同性愛者や両性愛者など性的指向における少数者に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



★は今回新たに設けた項目

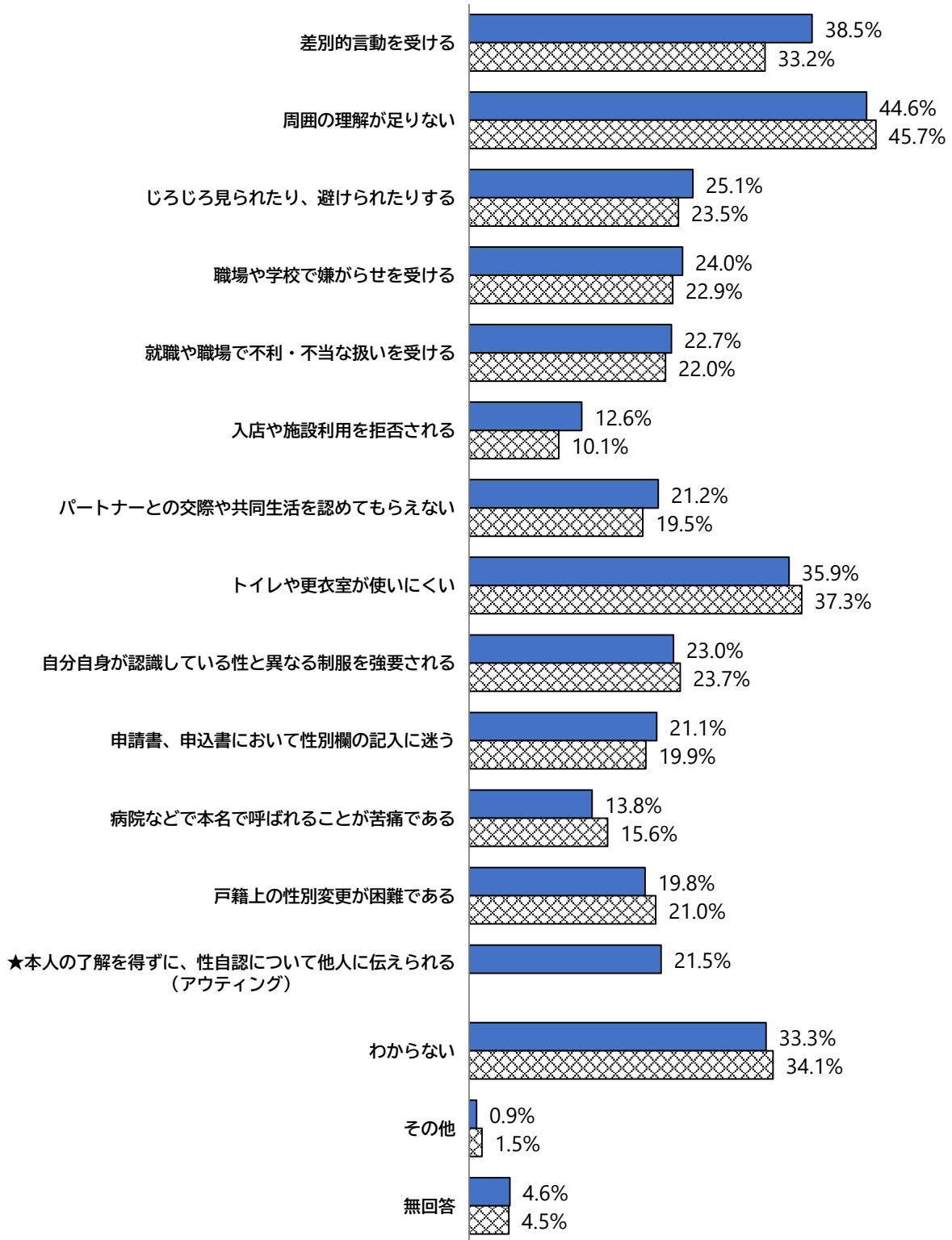
- ・ 「周囲の理解が足りない」が45.1%と最も高く、次いで「差別的言動を受ける」が37.5%、「わからない」が34.3%となっている。
- ・ 今回新たに設けた「本人の了解を得ずに、性的指向について他人に伝えられる」は24.6%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「入店や施設利用を拒否される」が3.6ポイント増、「差別的言動を受ける」が3.0ポイント増、「周囲の理解が足りない」が2.3ポイント減となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ パートナーシップ宣誓制度がない自治体に居住する人は生活面など不利
- ・ 国や裁判所が同性婚を認めないこと。
- ・ 公人が堂々と「生産性がない」などと発言すること。

【問16】

あなたが、トランスジェンダーなど性自認における少数者に関し、人権上問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から当てはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。



■今回調査 □前回調査(H30)

★は今回新たに設けた項目

- ・ 「周囲の理解が足りない」が44.6%と最も高く、次いで「差別的言動を受ける」が38.5%、「トイレや更衣室が使いにくい」が35.9%となっている。
- ・ 今回新たに設けた「本人の了解を得ずに、性自認について他人に伝えられる」は21.5%となっている。
- ・ 前回の調査結果と比較すると、「差別的言動を受ける」が5.3ポイント増、「入店や施設利用を拒否される」が2.5ポイント増となっている。

◆「その他」の主な内容

- ・ 公人による差別的言動
- ・ 性別適合手術を受けているにも関わらず、上記のような差別があるのはいけないことだと思う。